

「国土利用計画(第3次久米南町計画)素案」に対する町民意見等の募集結果について

平成24年1月10日から平成24年2月8日までの間、「国土利用計画(第3次久米南町計画)素案」について、久米南町パブリックコメント実施要綱により御意見を募集したところ、次の5件が寄せられました。

これらの御意見等に対する町の考え方を記載しておりますので御覧ください。
貴重な御意見ありがとうございました。

計画全般

	項目	意見の要旨	町の考え方
1	全般	久米南町は高齢者が多く、担い手のない農家が増え、「何とかしたい」等の声を聞きます。国土利用に関しても、振興計画と同様に町民の経験と知恵を絞った「協働」による推進を期待します。	「第3、8協働による町土管理の推進」にもあるとおり、今回の計画では「協働」が新しいキーワードになっています。町土の維持管理にあたり、住民・企業・行政など多様な主体が参加し、また助けあって、それぞれの特性を活かした取り組みを推進していきます。
2	全般	農用地と関係が深い里地・里山については不在地主が増え、管理できなくなっていくので行政や関係団体によるサポート体制の構築を図って欲しい。	
3	全般	数字やグラフではなく、航空写真等で農地・原野・森林等を色分けした地図を閲覧できるようにして欲しい。	久米南町では税務上の地積図や農地の地図台帳など業務ごとの地図台帳は整備していますが、土地全般についての図面は整備できていませんので、今回の計画については詳細地図を作成することができませんでした。将来的には全般的に把握できるシステムを検討し、町民サービスの向上に努めたいと考えます。
4	全般	農業従事者人口が確実に減少することを考えれば農地はもっと減り、原野は増えるはずである。	ご意見のとおり、農業従事者の高齢化や後継者不足により農業従事者人口は減っていくことが予想できます。本計画では、農地で無くなった土地については、雑種地と考え、その他に分類しています。

5	全般	小水力発電などグリーンエネルギーの活用について、国の補助等を活用していけば高補助率で実現できるので導入してはどうか。	グリーンエネルギーについては、昨今重要なコンテンツとなっていますが、本計画は国土保全を目的としていますので、計画には盛り込んでいません。別途計画で今後検討していきたいと考えます。
---	----	--	---